

**CASBEE柏2014年版**  
**(仮称)柏の葉T-SITE新築工事プロジェクト139街区**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE柏2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE柏2014(v.3.01)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>2.5</b>
<b>1 音環境</b>		<b>1.8</b>	0.15					<b>1.8</b>
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		<b>1.0</b>	0.40					
1 開口部遮音性能		1.0	0.91	3.0				
2 界壁遮音性能		1.0	0.09	3.0				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0				
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20	3.0				
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.4</b>	0.35					<b>2.4</b>
2.1 室温制御		<b>2.6</b>	0.50					
1 室温		3.0	0.50	3.0				
2 外皮性能		1.0	0.17	3.0				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33					
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	3.0				
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	3.0				
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25					<b>3.0</b>
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.62					
1 昼光率		3.0	-	3.0				
2 方位別開口			-	3.0				
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0				
3.2 グレア対策			-					
1 昼光制御		3.0	-	3.0				
3.3 照度		3.0	-	3.0				
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.38	3.0				
<b>4 空気環境</b>		<b>2.8</b>	0.25					<b>2.8</b>
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.50					
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0				
2 アスベスト対策			-					
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30					
1 換気量		3.0	0.50	3.0				
2 自然換気性能		3.0	-	3.0				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0				
4.3 運用管理		<b>2.0</b>	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.50					
2 喫煙の制御		3.0	0.50					
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.9</b>	0.40					<b>2.9</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0				
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		<b>2.3</b>	0.30					
1 広さ感・景観		1.0	0.37	3.0				
2 リフレッシュスペース		2.0	0.26					
3 内装計画	模型による内装計画に関する事前検証の実施	4.0	0.37					
1.3 維持管理		<b>3.5</b>	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	各種内装・外装は防汚性、耐候性の高い材料を採用	4.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
3 衛生管理業務			-					
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.2</b>	0.30					<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.4</b>	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	厨房ダクト、屋外の露出ダクトは全てステンレスダクトを採用	5.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管、排水管ともにレベル5以上の配管種を採用	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

<b>2.4 信頼性</b>			<b>3.4</b>	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	給水系統の二重化、受水槽の二層化及び水栓の設置	5.0	0.20			
3	電気設備	受変電設備は地上(2階電気室内)に設置	4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		2.0	0.20			
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.8</b>	0.30			3.8
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.4</b>	0.30			
1	階高のゆとり	1階階高さ4.2m、軒の高さ2FL+3700	4.0	0.60	3.0		
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1未満	5.0	0.40	3.0		
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	3.0		
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>4.0</b>	0.40			
1	空調配管の更新性	仕上げ材、構造ともに傷めないルートの確保	4.0	0.20			
2	給排水管の更新性	仕上げ材、構造ともに傷めないルートの確保	5.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性	設備置場に将来対応スペースを確保	4.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保	バックアップスペースを確保	4.0	0.20			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	3.6
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30			3.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		歩道と一体となった広場の設置、積極的な接道緑化、緑を際立たせる	<b>5.0</b>	0.40			5.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30			2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50			
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	3.1
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	3.4
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>2.6</b>	0.20			2.6
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10			3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEI 非住宅 0.82 住宅(専有部) 0.83	<b>4.3</b>	0.50			4.3
集合住宅以外の評価(3a.3b)		高効率の空調システムを採用	4.3	1.00			
集合住宅の評価(3c)							
<b>4 効率的運用</b>			<b>2.5</b>	0.20			2.5
集合住宅以外の評価			<b>2.5</b>	1.00			
4.1	モニタリング	空調エネルギー消費量、ガス、電気、水消費量等総合的に計測	4.0	0.50			
4.2	運用管理体制		1.0	0.50			
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング		3.0				
4.2	運用管理体制		3.0				
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	2.6
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20			3.4
1.1	節水	節水型大便器を採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.4</b>	0.60			2.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20			
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>2.6</b>	0.20			2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>2.5</b>	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	3.1
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		夏季における建築物の見付面積比40%以上60%未満 等	<b>3.6</b>	0.33			3.6
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33			3.0
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>3.0</b>	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.2</b>	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	大規模小売店舗立地法に規程される駐車場規模の計画 等	5.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25			
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>2.7</b>	0.33			2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			<b>3.0</b>	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		3.0	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			<b>1.6</b>	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			